



委員会ロゴに込めた意味

On the Symbolism of Our Emblem

本 ロゴは、医学の象徴であるアスクレピオスの杖を基調として、外科学の営みを一つの意匠に凝縮したものである。中央を貫く二本の杖、それを束ねる結紮糸、上部に広がる天秤、下部に広がる社会の輪—そのすべてが、外科医療という仕事に欠かせない価値を静かに物語っている。

I

基調

アスクレピオスの杖

The Rod of Asclepius — a heritage of healing

ロゴの全体の形状、すなわち**一匹の蛇が絡む杖**は、ギリシャ神話の医神アスクレピオスに由来する、医学の国際的な象徴である。外科学が依って立つ医の伝統と、治癒を志す者の倫理的系譜を、この一本の杖が静かに示している。

II

二本の杖

メスとペン — Art と Science

Bound by the surgeon's suture

中央を貫く杖は二本で構成される。一方は外科医の技術 (Art) の象徴である **No.10メス**、もう一方は研究 (Science) の象徴である **ペン**である。外科医が Art と Science の両輪をもって病と闘う姿勢を、この二本の杖が体現している。

二本の杖は、手術で用いる**結紮糸**によって一体に束ねられている。技術と学術が不可分であること、そして臨床と研究のいずれかに偏ることなく歩む外科医の矜持を示している。

III

上部

天秤 — 思慮と公平の象徴

The balance of judgment and ethics

杖の上部、左右対称に広がる形状は**天秤**をモチーフとしている。リスクとベネフィットを冷静に評価するバランス感覚、思慮深い姿勢、プロフェッショナルな意思決定、そして公平性・倫理性の高さ・責任の重さを象徴する。

同時に、学会として**男女の機会均等**に取り組む姿勢をも表している。

IV

下部

社会の輪

Rooted in, and reaching out to, society

下部に末広がり描かれた輪は、**社会の輪**を示している。外科医療が社会に根ざし、社会との結びつきの中で営まれることを表す。*Art* (メス) と *Science* (ペン) がその中心を貫くことで、**学術と実践の両輪が社会と接続する姿**を示している。



日本外科学会 ブランディング委員会